

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2024年2月22日

事業所名：放課後等デイサービス たまゆい

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	1階に集団活動の出来るスペース(機能訓練室)と2階に個別活動(学習等)が出来る部屋を設けている。	はい…92% どちらともいえない…8% ・走ったりするには少し狭いと思いますが、個人的には1階と2階に活動スペースがあり、戸建ての良さがあると思います。	戸建て住宅の為、十分な広さを確保が出来ているとは言えませんが、今後も限られたスペースを有効活用して環境整備を行います。
	2 職員の適切な配置	管理者兼児童発達支援管理責任者1名、保育士1名、児童指導員1名、作業療法士1名の計4名が常勤のほか、非常勤として4名が在籍している。うち、4名が当施設において1年以上勤務している。	はい…100% ・経験のある先生が在籍されています。	今後も適切な支援が提供できるよう人員体制の充実を図っていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	戸建て住宅を施設として使用しているため、段差や階段などがあり、完全なバリアフリー化は出来ていないが、階段に手すりを設置、玄関にクッションマットを敷く等の環境改善をしている。また各部屋の入り口には「学習室」「活動室」やピクトグラム表記で分かりやすくしている。	はい…64% どちらともいえない…32% いいえ…4% ・戸建てのため車椅子での利用は難しいが、床はフラットで躓きにくいと思います。	完全なバリアフリー化は出来ないが、安全に配慮し、利用児童が分かりやすい環境設定を行っていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃、消毒、換気などを行い清潔な環境保持に努めている。どこに何を片付けたいのか分かるよう、カゴなどに写真や文字を貼って視覚化している。		利用児童が安心して過ごせるよう、今後も環境整備をしっかりと行っていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	仕組化できていない業務などもあり、現在は日々のミーティングの中で業務内容の把握や各職員の予定を確認している。		任務分担を明確にするほか、仕組化を図り業務改善に取り組んでいきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現段階では行っていない。		必要に応じて第三者評価を受けることも検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	正社員だけでなくパートスタッフも外部研修を受講するなど、専門家からの研修を受けられるように機会を設けている。		令和6年度より年間を通じた研修(eラーニング)受講ができるよう準備を進めています。この他にも資格取得をはじめ、職員の質的向上が図れるような仕組み作りに取り組んでいきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者から困り事、求める支援内容、思いなどを具体的に聞き取り、職員間で情報共有し、個別支援計画を作成、保護者への説明を通じて認識の統一を図っている。	はい…100% ・子どもの課題や問題点など、言いにくいこともきちんと伝えて下さり、普段から子どもはもちろん保護者に対しても親身に接して見てくださっているのだと感じます。	本人や保護者にとって本当に必要な支援を見極め、計画に反映するとともに、それぞれの思いにも応えられるよう引き続き取り組んでいきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団での活動をベースに、子どもの状況に応じ専門職などによる個別プログラムも導入、計画に盛り込んでいる。		子ども一人ひとりの特性に応じ、集団、個別にこだわることなく必要な支援が提供できるよう今後も計画作成を行っていきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	児発管が中心となり、専門職も交えて保護者のニーズ、現状を把握した上で個別支援計画には具体的な支援内容を設定している。		今後も継続していきます。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援会議を行い、個別支援計画作成段階ならびに作成後には児発管から全スタッフへの内容共有を行い、また、日々のミーティング時にも支援内容の確認を行うなど計画に沿った支援に取り組んでいる。		今後も継続していきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	月1回の全体会議・支援会議などを通じて全員でプログラム立案を行っている。		今後も継続していきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	サービス提供時間の長短に応じて、時間内で行える様々なプログラムを考案、実行している。		引き続き、施設滞在時間などを考慮した支援内容とタイムスケジュールの設定に努めていきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	全スタッフ参加の会議で固定化しないように意見を出し合い、相談しながら決めている。	はい…92% どちらともいえない…8% ・週ごとにいろいろなプログラムを考え入れてくださっています。	今後も利用児童が楽しみに通所が出来るようなプログラムを考えていきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎朝のミーティングを出勤者が全員揃う午後からのミーティングに変更し、確認・共有を行っている。		今後も継続していきます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	個別での振り返りの時間は設けてはいませんが、その都度職員間で振り返りや確認を行い、情報共有を行っている。		今後も振り返り・情報共有は漏れがないようにスタッフ間でしっかりとコミュニケーションを取り、共有していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	療育支援システムHUGを導入しており、記録に関しては誰もが確認でき、不備や誤りがあれば訂正が出来るようになっている。		支援に関しての日々の記録はしっかり残されています。支援の検証や改善については保護者の意見も聞きながら取り組んでいます。
	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定められた期間内、または、個別の状況に応じて電話や対面、メッセージ機能などを活用、モニタリングを実施し、計画の見直し、作成を行っている。		今後もより良い支援を提供できるよう、期間に捉われることなく計画の見直しなど行っていきます。
関係機関との連携	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	基本的には児童発達支援管理責任者が出席しているが、必要に応じ専門職が出席または同席している。		今後も児童発達支援管理責任者だけでなく、出席することが望ましい者が出席できるような体制づくりに努めます。
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有			
	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在まで該当者がいないため、実施していない。		今後、該当者がいる場合には適切に対応できるようにしていきます。
	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	現段階では行っていない。		今後、必要に応じ連携を図るほか、研修等の情報収集、機会があれば参加の促進を図っていきます。
	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後は、お出かけなどの機会を設けてはいるが、交流会などは行っていない。	はい…12% どちらともいえない…68% いいえ…20% ・今のところ必要性を感じていません。 ・障がいのない子どもと接しているかは分かりませんが、コロナが第五類に以降してお出かけの機会も増え、児童館へ連れて行ってくださることがあります。	今後、保護者の意見なども聞きながら、必要性に応じて対応を検討していきます。
	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現段階では行っていない。		地域住民(自治会等)との良好な関係を維持できるような事業運営について工夫と改善を重ねていきます。
保護者への説明責・連携支援	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約の際に記載事項の読み上げだけでなく、保護者の理解度を確認しながら追加説明、質問を受ける時間を設けている。	はい…100% ・いつも丁寧に記録を書いていただけており、家族とも共有することができ、とても助かっています。 ・契約時に丁寧に説明を受けました。	保護者からの質問には随時お答えするとともに、今後も丁寧な説明を心がけていきます。
	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援計画は、印刷したものを保護者に示しながら対面で説明を行い、不備修正があった場合には訂正した上で再度保護者に確認を取るようになっている。		今後も丁寧な説明に心がけていきます。
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現段階では行っていない。		今後、保護者の意見なども聞きながら、必要性に応じて対応を検討していきます。
	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々の記録、メッセージでのやり取りの他、送迎時に直接お話をするなどして共通理解を深めるようにしている。	はい…100% ・家、学校、デイ、相談支援事業所との担当者会議を毎年行い、長い時間を使って話し合いを行って頂いています。それ以外にも問題や課題が上がった時には親だけではなく学校や相談事業所とも共通理解を取れる関係にあると感じています。	今後も保護者が安心してお子さんを通所させられる施設であるよう、コミュニケーションを図っていきます。
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応に必要な助言の実施	保護者とのコミュニケーションの機会を確保し、相談等に対してはその都度対応するよう努めている。	はい…92% どちらともいえない…8% ・面談は定期的に行われ、それ以外でも希望すれば面談やメール、電話でやり取りをしていただけたりと助かっています。	現状では保護者発信となる場合が多いため、施設側からの声掛けなど働きかけにより相談しやすい環境などの構築に努めています。
	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現段階では行っていない。	どちらともいえない…44% いいえ…56% ・親に向けた会があればありがたいです。 ・保護者も参加できるプログラムや参観日などあれば、ぜひ参加してみたいです。 ・今後、保護者会の機会があれば参加しようと思います。	保護者の意見を踏まえ、今後当施設で取り得る対応を検討していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対する対応体制を整えており、契約の際に保護者に対しては受付方法について説明を行っている。	はい…84% どちらともいえない…16% ・契約時に説明は受けましたが、苦情がないので適切分かりません。	現在まで苦情の受理はないが、定めた苦情処理体制が有効に機能するよう定期的な職員研修などを行っていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	視覚支援やPECS、1日の流れのスケジュールなどを活用し、子どもと意思の疎通を図っている。保護者とも療育支援システムHUG内にてメッセージ・写真・資料などを提示し分かりやすく伝えるよう心がけている。	はい…96% どちらともいえない…4% ・子どもには視覚支援やPECS、実物などいろいろな方法を用いて表出を引き出そうとやり取りして頂いています。 ・親にも専用のシステムのメールでやり取りや情報共有ができます。	利用者に応じた支援、配慮を今後も行います。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	現在は既存の利用者へ、療育支援システムHUG内において随時情報発信を行っているのみで、不特定多数を対象とした情報発信は行っていない。	はい…92% どちらともいえない…8% ・専用システム内で行事やお知らせが確認できます。 ・ホームページ内のブログやギャラリーの更新は行われておらず、Instagramは終了になってしまったので、今は利用後の生活記録で様子を確認しています。	ホームページ内のブログ、Instagramは業務改善の中で廃止とした経緯があるが、情報発信が不足している現状を踏まえ、今後の対応を検討していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	資料の持ち帰り、私用携帯での個人情報登録や写真撮影は禁止しており、事業所管理のパソコン・携帯電話を使用し、セキュリティソフトの導入、パスワード管理を徹底している。	はい…100% ・問題ないと感じています。	安心して当施設をご利用いただけるよう、取り扱いには細心の注意を払い、対策を今後も行います。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	未完成のマニュアルもあるため、作成と更新の対応を進めている。	はい…88% どちらともいえない…12% ・丁寧に説明を受けました。	実情に即したマニュアルとなるよう継続した見直しと、職員への教養訓練の実施、保護者への内容周知を行っていきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	プログラムに避難訓練を取り入れている。今後も各種訓練を取り入れるようにする。	はい…92% どちらともいえない…8% ・プログラムに避難訓練を取り入れられています。	各種訓練はプログラムの一部として取り入れており、実施状況などは保護者へも周知していきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	正社員だけでなくパートスタッフも外部研修を受講するなど、専門家からの研修を受けられるように機会を設けている。		今後も研修への積極的参加と虐待防止委員会の開催、内容の周知を行っていきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	必要性を十分に判断した上で組織的な決定を行い、児発管から保護者への説明、計画への記載と職員への対応要領の周知を行っている。		引き続き適切な対応を行っていきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に保護者にアレルギーの有無について確認している。午前中からのご利用時はお弁当を持参し、おやつも保護者に準備をお願いしている。クッキングの際には、参加者によりメニューを変更している。		引き続き適切な対応を行っていきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット・事故報告書はそれぞれ様式を作成しており、該当者に作成させ回覧するとともにミーティング時に報告し共有を徹底している。		振り返りと共有を徹底し、大きな事故にならないよう環境設定・原因の究明と対策を行って行きます。
満足度等	1	子どもの通所に対する姿勢		はい…88% どちらともいえない…12% ・利用日前日に「明日はたまゆいさんに行くよー」とカレンダーを見ながら楽しみに話しています。 ・利用前日に当日の流れのメールを頂き、本人にも毎回口頭と視覚で伝え登所しています。感覚過敏が強く、不安定になりやすい子なので、利用ごとに波はありますが、頑張ってお通所してくれていると感じています。	利用児童が通所を楽しみにしてもらえ環境設定やプログラムを立案し、安心して療育に臨めるようしていきます。
	2	事業所の支援に対する満足度		はい…100% ・写真付きでいつもとても丁寧にその日の様子を教えてくださいるので、どのような活動に本人が参加していたのか様子がとても分かります。 ・先生も理解があり、優しく、私自身もお話して楽しいです。何よりも安心感があります。 ・不安定さが今は目立ち、すごく大変で親の方がいつも申し訳ないと思うのですが、それでも「何とかするよ」と快く利用させてくださり、課題へも親身に向き合って一緒に考えて頂いたり感謝しかないです。	今後も保護者の期待に応えられるようニーズに沿った適切な支援を行っていきます。
	3	送迎の正しい実施		はい…96% どちらともいえない…4% ・送迎時、時折チャイルドシートを忘れていたがあるので、安全面でもチャイルドシートを必ず車内に置いておく等の対応をしてほしいです。 ・利用を初めて1年が経ち、まだ崩れて座れなかったりはありますが、根気よく付き合っていて頂いています。 ・丁寧な送迎対応に感謝します。	チャイルドシートの設置忘れがないように複数名でチェックしていきます。今後も適切な送迎を行います。